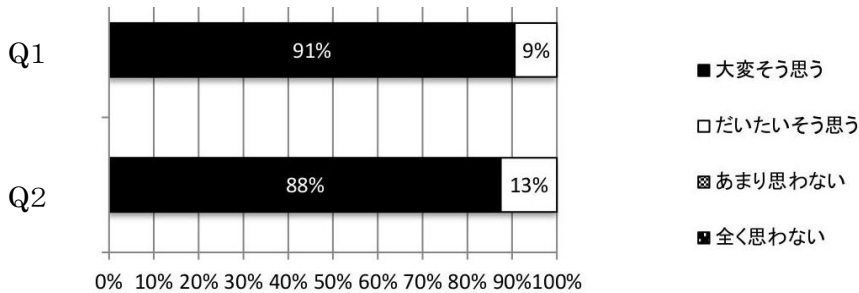


7月相双地区被災地研修 アンケート結果 2019/7/13

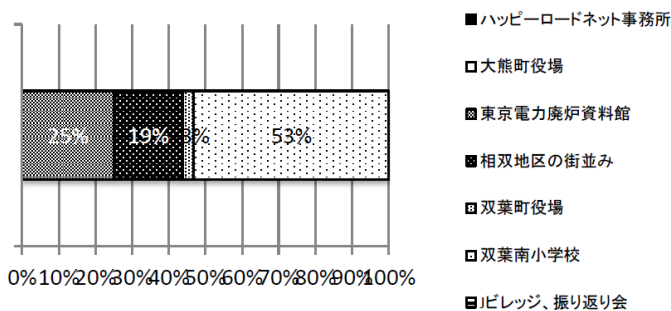
Q1～Q4 は生徒32名のデータ、Q5～Q6 は生徒32名、引率教員4名のデータ。

Q1 あなたの、相双地区の福島の現状についての理解度は高まりましたか？

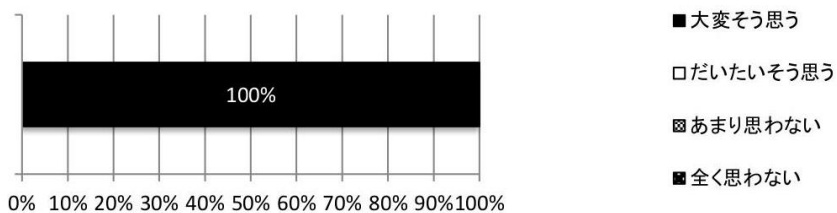
Q2 あなたの、相双地区の福島現状についての関心は高まりましたか？



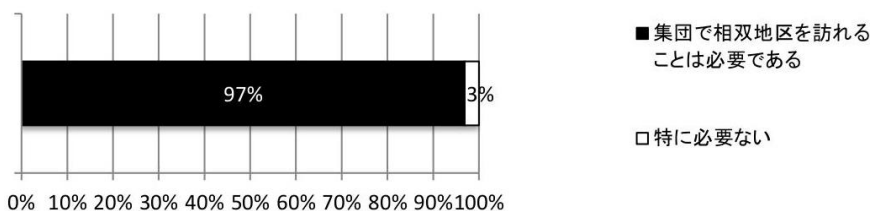
Q3 一番印象に残っているのはどの場所ですか？



Q4 研修全体について、満足しましたか？



Q5 高校で、今回のように集団で相双地区を訪れることについて、あなたの考えを以下から選んでください。①集団で相双地区を訪れることは必要である ②特に必要ない



(理由は次ページ)

<①集団で相双地区を訪れることは必要である>・・・35/36

学年	理由
1	メディアなどを通じてではわからないことを知ることができるし、自分自身で体験する事で得る事もあったから。
1	中々行く機会を自分で持つのは難しいし、興味を持ってる方もたくさんいらっしゃると思うので、必要だと思います。また、行けなかった人に学んだことを伝えることができます。
1	今回の研修で、双葉南小学校や双葉町役場など、個人では行くことができない場所に行くことができましたし、振り返り会では普段話す機会がない先輩方と意見交換をすることができ、より考えを深めることができました。
1	同じ福島県内の事にも関わらず、私たちは、震災の影響が今なお残る相双地区の現状に関心を持つ機会がありません。私は今回この活動に参加して、是非、私の同級生に相双地区を訪れ、その現状、そして私たちの生活がどれほど恵まれたものなのかを感じてほしいと思いました。
1	今回この見学会に参加して、相馬地区の復興の現状を知ること、それまでとは違ったイメージを持つことができるようになったし、同じ福島県民として、そのような地域への理解を深めることは大切だと思うし、集団で繰り返し相馬地区を訪れることによって、放射線の危険はほぼ無くなったことの証明になるから。
1	震災の復興の現状を正しく知ることができるため。
2	知り合いと共に相双地区に赴くことで、話し合い活動などで自分の考えの整理を行うことができるから。また、個人で相双地区を訪れようとするとかかなり大変だが、このような取り組みによって気軽に行くことができるから。
2	周知させることが必要だから
2	一人ででも訪れるということに大きな意味はあると思う。しかし、集団で訪れることで、意見の交換ができるという点で非常にそれは効果を増すと思う。自ら知るということに加えて、他の意見が加わることで意見の拡張ができると思う。
2	出来るだけ多くの方が実際に相双地区を訪れることで、ニュースでは感じ取れない、リアルな現状や人々の働きを見らることによる、寄り添う気持ちや復興への関心が高まるから。
2	今の福島の実状を知ってもらうことはとても必要なことだと思ったから。
3	個人ではなかなか訪れることができない場所だと思うので学校として行けるのはとても良いと思う。実際に行ってみると知らなかったことがわかったり考え方も変わると言うから行った方がいいと思う。
3	個人的に行こうと思っても行動に移すのに勇気がいるのでなかなか実現しない。また、集団の研修、という形で訪れることによって普通じゃ立ち入れない場所を見せていただくこともできるし、貴重な話をお聞きすることもできるから。
3	お互いの考えを共有し合うことができ、より考えを深められるため。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目で見ないことには、震災や被災地の現状、社会的問題についての理解が深まりにくいから。 ・集団で訪れることで、他の人の意見を聞けたり、自分の意見を話すことで整理ができるから。 ・個人で訪れるのはハードルが高いと感じる人も多いから。
3	肌身で感じたことについて話し合えるし、より多くの人に現状を共有できるから。
3	実際に相双地区に行って誰も立ち入っていない建物や崩れている家を見てまだまだ復興が進んでいないことを改めて知り、その中でも新しい役場や駅など町の再開への希望も見られて人々の努力

に感銘を受けた。また、振り返りでは時間が限られていながらも新しい視点からの意見が聞けてとても有意義な時間となったから。

3 荒廃した家や街並みを見ることで感じることは多いし、とても考えさせられるから

3 自分は福島県民にもかかわらず、相双地区の現状を知らずに今まで過ごしていました。しかし今日実際に見学させていただいて復興に携わろうとしている方々の熱い想いを肌で感じたり、震災当時の状況等を目に焼き付けたりすることができ自分自身にも復興のため、福島県民のために出来ることがあるのではないかと感じました。特に双葉町の小学校と町役場の見学を通して震災当時の記憶が蘇ってきて当たり前のように過ごしてきた日常の大切さを思い出しました。

また、団体として見学させていただいたことで復興に対しての様々な意見交換ができとても有意義な時間になったと思います。

3 被災地の現状を知る機会を多く得るべきだから

3 ニュースで見ると実際に目で見るのでは感じるものに差があり、震災が起きた時から変わらないものを肌で感じることで震災の悲惨さだったりその時の自分の気持ちをまた思い出すことができると思うから。また、自分の目を通して被災地の現状や雰囲気を感じることで復興の第一歩となるのではないかと思ったため。

3 これから社会を動かしていく世代である高校生全員が、被災地についてしっかりと関心を持ち何か行動を起こすことが復興を促進していくことになると思うから。

3 聞くだけでなく実際に自分の目で見なければ、本当のことを知ることは出来ないと思うからです。想像を超えて本当に多くのことを感じる事が出来るので、少しでも多くの人に体験して欲しいなと思います。

3 見たり、聞いたりした事をその場ですぐに近くにいる人や先生と話すことができ、意見交換につながり、考えが深まったから。

3 被災地の現状を自分の目で確かめることは、自分の放射線や、被災地に対する見方を変えてくれると思うから。でも、個人で行くには負担が大きく難しいので、集団研修のような機会はとても有難いです。

3 直接見なければ分からないこと、感じる事ができないことがたくさんあると思うから。

3 福島の復興のためにはまず現状を知ることが大切であり、その第一歩として実際に見て体験することで自分達の理解や関心も深まり、さらに周囲への正しい情報の発信者にもなることができると考えているから。

3 実際に視察することで将来に繋がることを発見できるから。

3 実際に相双地区を訪れなければわからない現地の人の話や街並みがあるので行く必要があると思う

3 集団で視察に行くと、自分の経験だけではなく、周りの人たちの経験や考えなどを聞けるので、自分の中で新しい考えも生まれて、理解がより深まるから。

教員 百聞は一見にしかず。特に福島県の高中生（大人も含む）こそ現地で見聞を広めることに積極的であるべき。福島の将来のために必要な教育であると、今回の視察研修を通して実感した。

教員 相双地区の現状を他地区の人間が知る機会は思ったよりも少ない。現状を知った上で課題を意識することはとても重要なことだと思う。

教員 福島の高中生として、福島の課題を正しく知る必要があるから。

教員 実際にいる人に触れることで、ただテレビなどで見るだけではなくさまざまな思いを感じ、考える機会となるから。すぐに現地の人や友人と話すことで意見の整理ができるから。

学年	理由
2	<p>現地を見るよりも、その土地の人々の現状を知って、あるべき復興の姿について考える方が良いと思う。単に見るだけでは、「元の生活を取り戻すためには」という議論に持ち込まれがち。むしろ、それ以外の選択肢を思考する機会が必要では？</p>

Q6 今回の研修は、西本さんをはじめとする NPO 法人ハッピーロードネット様のご協力で実現しました。ぜひメッセージを書いて下さい。

1	<p>今回は私たちに相双地区についていろいろなことを教えてくださりありがとうございました。新聞やニュースで見聞きしたこと以上のことを体験することができました。先生が帰りのバスで配ってくれた資料にも書いてありましたが、メディアには偏見が含まれていると思います。震災後にはデマも多く流れました。それにより今でも被災地について勘違いをしている方は多くいます。驚いたのは、勘違いをしているのは県外の方々だけでなく、県内の私たちもだと言うことです。私たちが大人になったときそんな人たちを少しでも減らしていきたいです。また、多くの情報の中から全てを信じるのではなく、これは真実、これはデマと見分けることができる人が増えてくれることを願っています。そのためにも、将来を担う子どもたちに西本さんたちの活動を知ってもらい、被災地を肌で体験してもらいたいです。</p>
1	<p>1日という短い時間でしたが、想像をはるかに超える体験をさせていただきました。郡山出身の私は地震が起きたぐらいのことしか情報が正直に言ってなく、なんでわたし達が放射能を浴びたのかも恥ずかしながら知りませんでした。</p> <p>色々な方と交流して改めて自分の生活で置き換えられるものがあつたら、探してみたいと思います。今度からは何事にも興味を持ち、たくさんの人と仲良くなり心の輪を広げたいです。</p> <p>将来、私の行きたい大学は本県の放射能の研究をずっと行っている大学なので、また何かの形で会えるような気がします。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
1	<p>この度は、お忙しい中、私たちのためにお時間を作ってくださり本当にありがとうございました。今回の研修を通して、自分は東日本大震災を経験し、その経験を語り継いでいけないといけない世代でありながらも、まったくと言っていいほど何もわかっていなかったのだと反省させられました。「東日本大震災を忘れない」という言葉をよく耳にしますが、津波の被害もなく、原子力発電所での被害もあまりなかった地域の人々は東日本大震災を「忘れて」いなくとも「過去」で終わらせてしまっていた人が多いと思います。私もその中の一人でした。</p> <p>ですが、今回初めて約8年間誰も住んでいない街並みや2011年3月11日から何も変わっていない小学校や役場の様子を見て、決して過去のことでないのだと実感しました。自分が復興のために何ができるのかはわかりませんが、今回の研修を通して、自分が目で見て、耳で聴いて、肌で感じたことを家族や友人、そして東日本大震災を経験していない世代の人々に伝えることが少しでも復興にプラスになればいいなと思います。</p>
1	<p>私は今回の体験の案内を見て、これはぜひ参加しなくては、と思いました。というのも、今まで私は同じ福島県内のことにも関わらず、相双地区の現状を知らずに生きてきたからです。この体験の</p>

説明会に行った時に、学校の先生が「いつか君たちが大学に行って福島を出るとなった時に、他県から来た人たちに何か聞かれた時に答えられるよう、福島県民として同じ福島の相双地区の現状を知っておくべきではないか。そして、相双地区への放射線に対する偏見をなくしてほしい。」とおっしゃっていたのを聞いて今回行くことを決心しました。先日、実際に1日をかけて相双地区が着実に復興へと進んでいることを知って、今までまだまだ復興への兆しは見えていないと思っていたことが恥ずかしくなりました。そして、西本さんをはじめとした沢山の人の笑顔を見て、いつか必ず相双地区には8年4ヶ月前の笑顔あふれる生活が戻ってくるだろう事を実感しました。これから、その笑顔で相双地区を希望へと導いて行って下さい！本当にありがとうございました。

- 1 この度は僕達の見学会に協力していただきありがとうございました。貴重な体験ができて、この見学会に参加できて良かったと心から思います。

今回の見学会を通して、実際に足を運ぶことの大切さを身にしみて感じる事ができました。

「言葉」で物事を伝えようとすると、どうしても話し手と聞き手の間にズレが生じてしまいます。僕は震災が起きてから最近までの約8年間、その「ズレ」を直そうとしてきませんでした。これは福島県民としてあってはならない事だと、見学会が終わった今では思います。しかし僕は見学会に参加して、実際に町の姿を見て、色々な方の話を聞いて、その「ズレ」をかなり直すことができたと思います。

今回は本当にありがとうございました。今回の貴重な体験を、今後の学校での活動や、将来社会に出る上で伝えて行こうと思います。

- 1 私はこの研修に来る前は原子力発電所の事故、その復興についてあまり知りませんが、この研修に行き、原子力発電所で何があったのかや復興に対するたくさんの課題を知ることができました。研修で得た知識や経験を情報として、福島の復興や原子力発電所の事故について周りの人々にたくさん発信し、知ってもらおうよう頑張りたいです。

私の人生の一生の記憶となるような研修を開いていただき、本当にありがとうございました。

- 2 視察を通して気づくことが、多くあった。確かに、被災地と呼ばれる場所で努力する人がいて、それぞれの目指す所が明確に感じられた。

ただ、本当に以前の姿に戻ることが出来るのか、またそれが本当の意味での復興なのか、考えさせられる。

今回の経験は、復興を考える視点を増やす貴重なものだったと思う。

- 2 今回はこのような機会を与えていただき、ありがとうございました。皆さんは震災に負けず、強い意志でこのような活動をされていると思います。しかし、私のように福島に住んでいても、正直状況を理解している人はあまり多くないと思います。そうではありますが、私たちは同じ県に住んでいる身として、自分から働きかけて正しい情報に耳を傾け、自分の頭で考えるべきであると今日の体験を通して強く感じました。このような今日の体験で感じた様々なことを胸に刻んで、今後の人生において活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
-

- 2 新聞やテレビで報道されている事実であっても、実際に身体で感じると印象は全く異なるのだと改めて感じました。

双葉南小や双葉町役場など通常は一般の人が入る事のできない場所で、震災当時のままで残っている散らばった物品や壁の展示などを見て、とても寂しく感じました。

それとは別に、今回のボランティアの方々の元気な様子や、新しく造られた大熊町役場の建物を見た事によって、すごく勇気づけられもしました。

様々な心を抱く機会を与えてくれた今回の研修を行ってくださり、本当にありがとうございました。これからも僕は、地域や福島についてしっかりと考え続けていきたいと思っています。

- 2 被災地の現状を知ることが出来ました。

これからも頑張ってください。

- 2 今回はありがとうございました。私は今回終始ビデオカメラを回らせていただいたものです。物理部と同時に放送部でも活動しているので、このようなことについて広める、ということが出来る立場に立つことができ、両部でやってきてよかったなと感じております。

今回、このような立場で見えてみて、これまでの経験とは違うことを感じました。それはやはりその身で感じ、その目で見ることの大切さです。映像では狭い範囲しか写せませんし、その雰囲気を完全に伝えることは難しいです。だからこそ、今回時間のない中にご協力いただいたインタビューや、途中の解説など人の言葉が、制限された範囲で物事を伝えるカギになると考えました。今回学んだこと、経験したことは、一つのビデオにまとめていきたいと考えています。こういった形ででもはや3.11を知らない世代に伝える、ということが果たせたらなと考えています。ありがとうございました。

ここからは、私個人的な経験と感想です。まず、第一に驚いたことが廃炉資料館です。去年の夏ここを訪れていましたが、工事が行われていました。今回来てみて、このようなものが出来上がっていることに驚いています。少し独特な表現（床にビデオを投影するなど）を使うことで、視覚に訴え、事故を印象深く、正確に記憶に刻むことができる施設になっていると思います。

大熊町役場、その周辺は短い時間ではありましたが、その地から復興を推し進めたいという強い決意のようなものをそこから感じる事ができました。今回最も貴重な体験であった小学校、町役場の視察ですが、まさかあのような場所を自分の目で見ることになるとは思っていませんでした。黒板やカレンダーは3月11日で止まりポスターや掲示物も平成23年になっていて、テレビの前でしか見る事のなかったものがいきなり目に飛び込んできた衝撃はすさまじいものがありました。においや空気、教科書の日焼けから時は進んでいるようなことはいかがえましたが、でもやはり当時の様子を肌で感じているようなそんな気はしました。

今回これに参加し、これまでの知識をより強度のあるものにし、これからこのような問題を考えていくうえで、非常に大きな糧となりました。またこのような学習、経験をいろいろなところで生かせるような人になっていきたいです。

今回はご尽力いただき本当にありがとうございました。

- 2 今回はこのような貴重な機会を用意していただきありがとうございました。初めは被災地として見学する心構えでしたが、西本さんをはじめ案内して下さった方々の明るい表情を見て、ここは着実に復興に進みはじめている場所なのだとな肌で感じる事ができました。今私たちに出来ることは今回のように、見て聞いて出来るだけ正しい情報を得て、寄り添うことだと思います。そして、将来様々な知識や技術を身につけて、また元の相双地区に戻ってもらえるように、何かしら貢献できたらと強く思います。この度は本当にありがとうございました。
-

- 2 先日は本当にありがとうございました。休日だったのにも関わらずお忙しい中お越しいただき大変感謝しております。お陰様で、今の福島の現状についてより深く理解することができました。そして、これから私たちがすることを明確にするための第1歩へと繋がりました。本当にありがとうございました。
-

3 僕は双葉厚生病院というところで生まれました。生まれてから今まで一度も地元に戻ったことがなかったのですが、このような機会に現状を知り故郷について考えることができるとは思いませんでした。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

3 今回のような研修の企画にご協力くださりありがとうございました。

半壊した建物や置き去りになったランドセル、バリケードの柵などを実際にみて9年の月日を経て薄れていた、当時のただひたすらに怖かった、という思いや非日常な生活、続く余震などを思い出し、この思いや出来事を風化させてはいけない、と強く感じました。

反対に、大熊町役場やJヴィレッジのように着実に復興してきている場所もあるという現状も知ることができ悲惨な状態が続いているというイメージが変わりました。

廃炉資料館では原発事故はどのように起こったのかや、従業員の方の動きなどを知り、さらなる事故を防ごうと尽力していた、ということがわかりました。未然に防げた事故かもしれないと考えたと、福島県民としては怒りがわいてくる部分もありますが、全体を通して原発事故の事実を伝えるというより東電の方の反省やお詫びのメッセージの方が強く受け取られ、この廃炉資料館自体が東電の方を責めているもののように感じました。わたしは今後残していくものとしてどうなんだろうと思ったのですが、西本さんはこの施設についてどのように感じていますか？

また、西本さんを始め大熊町役場の方や双葉町役場の方など会う人会うみなさんが活気ある町に戻りたいという強い思いで努力されている姿に心を打たれました。西本さんが言ってくださったようにあれこれと考えて躊躇する前にやりたいと思ったことにチャレンジしたいと思います。

3 今回の研修を通して相双地区の現状を自分の目で実際に確かめることができたのはとても貴重な経験となりました。私は研修に行くことで復興していく中には若者の過疎問題があるということを知りました。私はこの問題は相双地区だけの問題としてではなく福島県が一体となって考えるべき問題だと感じました。今はまだ実際の具体的な解決案は私は見つけることはできませんが、この先の人生を歩んでいく中でその解決の手がかりとなるものを見つめる努力をしていきたいと思えます。

今回はハッピーロードネットさんのお力なしでは叶うことはない企画でした。本当にありがとうございました。

3 まず、休日にもかかわらず、私たちのために、一日ご協力いただきありがとうございました。

私は、学校で受けた放射線、震災の授業を受けて、自分がなにもやっけてこなかったことに悔しさを覚え、この企画に参加させていただきました。そのため、道の駅で皆さんや高校生の活動を知った時、尊敬の念を覚えました。

廃炉資料館では、シアターで東電さんのお詫びから始まったのが印象的でした。メディアではあまりお詫びや反省、教訓といった要素を報道することが少なく、言い方は難しいですが「天災だから仕方がない」というような見解がなされているのかと思っていました。また、映像を通して事故後の状況、対処も知ることができ、知識的な勉強になりました。

役場、小学校では、正直目を背けたくくなるような場面が多々ありました。震災当時の自分の体験も蘇りました。地元の方も未だに立ち入ったことがないと聞いて、なんとも言えない気持ちになりました。

そういった過去が残っている中でも、着実に復興していること、そのために一生懸命活動されている方がいらっしゃることも知りました。私たちが住んでいる町と変わらない風景や皆さんの明るさを見ることができ、被災地という言葉は似合わないなと思いました。

私は将来医者になりたいと思っています。その過程で今回の貴重な経験は必ず思い出され、生かされると思います。また、今回知ったことを、知っただけで終わらせず、今後復興の力になるために考える材料にしたいと思っています。本当にありがとうございました。

3 今までテレビで見ているだけで遠くで起こっている事のように感じていたが、今日の体験を通じて一気に身近に感じるものとなった。福島県人の1人である自分もこの現状の改善に何かしらの形で貢献したいと思う。

3 三連休の中、一日中相双地区を案内していただき、ありがとうございました。中、高校生のやる気に元気づけられながらサポートし続ける皆さんにとっても感動しました。町を案内してくださった時、空き地になってしまった地域を見て寂しそうであったり、復興に向かっていく地域を嬉しそうに紹介されたりと皆さんの相双地区への愛を感じました。今回の研修で相双地区についてまだまだ知らないことがたくさんあるんだなと感じました。これからもっと福島県の発展について関心を持って、福島県の未来を担う存在として自分なりの意見を持っていきたいと思いました。

3 今回の研修で、原発のしくみや、震災時の詳しい状況を知ることができ、すごく参考になりました。

僕は特に帰還困難区域の街並みや小学校がとても印象に残っていて、あんな状況は二度と起こらないように考えていかないといけないなあと思いました。

今回は1日間色々教えていただき、本当にありがとうございました。西本さんの行なっているハッピーロードはとても素晴らしいことだと思いましたし、感動しました。

少しでも復興の力になれるように僕も頑張っていきたいと思います。

3 このような機会を作ってくくださった西本さんには感謝しています。復興に携わるチャンスは高校生である私たちの行動によって生まれ、西本さんのようにそれをバックアップしてくださる方々によって実現するものであると痛感しました。西本さんのように行動を起こす勇気を自分も磨いていきたいと思っています。ありがとうございました。

3 凄く明るい方で話も聞きやすく、復興に関心が持てました。この研修で、福島に戻り復興の手伝いをしたいと思いました。

3 西本さんはじめハッピーロードネットさんたちの皆様は非常に明るい雰囲気、自分も楽しみながら相双地区の現状を知ることができました。今はまだ自分の将来は漠然としています、これから勉学に励み今回の研修で学んだことを将来への糧としていけたらいいなと思いました。そして少しでも福島の復興の力になりたいと思います！🐣🐣🐣

3 この度はお忙しい中、わざわざ時間を割いて案内していただき、ありがとうございました。福島県内にいながら被災地の状況を知らなかったことに悔いを感じ、今回の視察会に参加させていただきました。実際に見学してみて、どの町も、これから数年で解決できる問題ではないと感じましたし、町内の人だけでなく、外に住む人たちもしっかりと関心を持ち、復興の方法を考えていかななくてはならないと思いました。自分が将来社会に出た時、どんな形であったとしても被災地の復興に貢献できることを積極的に行なっていきたいと思っています。本当にありがとうございました！

3 学校の先生による震災に関する授業をきっかけにこの研修に参加し、本当に貴重で充実した体験をすることができ、心から良かったと思っています。

テレビ越しでしか見たことがなかった被災地の風景は想像を絶するものでした。目に入ったものから感じ取れる当時の状況や、年月が経過して町が変わっていく様子には私は大きな衝撃を受けました。

そして、私が何よりも胸を打たれたのは、その現場で懸命に活動する方々の姿です。震災と言えば崩れ落ちた家屋、津波に流された町、荒れ果てた帰還困難区域、。そのようなネガティブな面ばかりが報道され、私たちの記憶に焼き付きます。でも、大切なのは明るい未来のために皆で力を合わせて行動すること。私たちの知らない所で多くの方々が復興事業に力を注いでいること。地域の人々の熱い思いをこの身で感じる事ができました。どれだけの方々がどのような取り組みをしているのかなどのポジティブな面こそ、もっともっと発信していければ良いなと考えます。そして、思いを同じくする人がもっと増え、みんなで未来を作っていけたらいいなと思いました。今日知ることが出来たのはほんの一部ですし、自分に何ができるのか具体的にはまだ分かりませんが、福島のために自分もアクションを起こしたいという思いはいつそう強くなりました。これからもっと勉強して、何らかの形で復興に携わっていきたいと思っています。このような機会を与えてくださった皆さんには本当に感謝しています。絶対に忘れません。ありがとうございました。

- 3 相双地区や大熊町、楡葉町と聞くと原発事故で避難しているところというイメージが最も強く印象に残っていたが、今回このような探求活動に参加する事で、復興が進んでいる事がはっきりとわかった。また、ハッピーロードネットの皆さんや、役場の皆さんが凄く楽しそうに仕事をしている姿を見て、こんな風に働ける大人になりたいと思った。今日は本当にありがとうございました！
-

- 3 まず、西本さんの笑顔と明るさに、「被災地の受けた傷を心に留めておかなければ」という私の考えは砕かれました。なんとなくそう思っていたのは、私の中で被災した地区、ましてや帰還困難区域に指定されている地区の現在などについて考えたことがあまりなく、自分のそれらについての知識が9年前のまま止まっていたからかもしれません。既に厳しい現実の中でも復興に向けて前を向いて着実に歩んでいらっしゃる姿に、自分たちがすべきことは、過去を踏まえて未来について考えることなのだ、と強く感じました。

事故当時原発近くなどで作業していた人の努力や、実際に事故の影響で家に帰ることもままならない人の気持ちに思いを馳せたのは、今回の研修が初めてでした。また、事故に際してロボットの開発をした方々や今もなお原発作業員として作業されている全国から集まっている方々など、本当に多岐にわたる多くの人の努力があってこそ現在の現在なのだという事実も実感しました。今の課題の1つとして風評被害がありますが、正しい知識を持っていなければ、誰もがちょっとしたことで、その加害者(?)になり得るのではないかと思います。実際に自分も今まで、加害者側の人間だったような気がします。しかし、今回の研修を終えて、そんな方々について何も知らず、無責任な言葉を放っていた自分が恥ずかしいと感じました。

今回の研修のお陰で初めて気付けたことがたくさんありました。本当にありがとうございました！

- 3 テレビのニュースでしか見ることのなかった光景を目の当たりにして、十分わかっていると思いついていた8年前の震災の事の大きさを改めて実感しました。

防護服を着用したり、双葉町や大隈町を見学することで、原発作業員の方々の苦労や未だ人の住んでいない地域の様子などを肌で感じる事ができました。

今日の体験で感じたことをこれからの生活や社会に出て行く上で役立てていきたいです。

本当に貴重な体験をありがとうございました。

- 3 本日はこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今まで画面越しでしか見たことのない被災地の光景を実際に目の当たりにして、予想以上の悲惨さに衝撃を受けました。今回体験したことを心に留め、周囲の人に情報を発信していくとともに、さらに現状への理解を深め
-

福島の復興のために自分に出来ることをしていきたいと強く感じました。西本さんの熱意にも心を動かされました。改めて、本日は本当にありがとうございました。

3 色々なお話や案内をしていただきありがとうございました。実際に双葉町の街並みを見て、人がおらず、建物が壊れていて寂しく感じました。これから復興していくために私たちがこの現状を他の人に伝えていかなければならないと思いました。

3 西本さんは初めてお会いした時から元気一杯で、受験勉強で疲れていた私も元気をもらえました。私は震災当時まだ小学3年生で、その時起きている現状を理解することができずにいました。今回の視察を通して、実際に津波の被害を受けた地域の様子も見て、本当に衝撃を受けました。震災前の双葉町や大熊町には何度も買い物や通院などで訪れていて大変お世話になりましたが、その当時の景色も覚えている分、今の景色を見て悲しさを感じました。しかし、復興が本当に進んでいるんだなあと思う部分もたくさんあり、私も将来何らかの形で双葉町や大熊町の復興に携わり、恩返ししたいと思いました。

その時はまたハッピーロードネットさんのお力を借りるかもしれません。これからも福島の復興のために一緒にがんばっていきましょう！

3 本日はお忙しい中、私たちのために1日かけて案内してくださり、ありがとうございました。東京電力の廃炉資料館では、原子力発電についての理解を深めると共に、自分の勉強不足を痛感しました。周りの人に、放射線の影響が薄れたことをしっかり伝え、多くの人に福島県に関心をもってもらえるようにしたいと思いました。また、道中の西本さんの案内を聞いたり、街並みをみたりする中で、浜通り地区のみなさん一人一人が復興に尽力していらっしゃる様子を実感しました。本当にありがとうございました。私は、大学生になったら、復興に関わるボランティアに参加したいと思いました。自分たちの故郷に誇りをもてるように、また、周りの方に福島県の活気を感じて頂けるような活動がしたいです。本日は本当にありがとうございました(´_ゝ´)

教員 西本さんのお力で本日は何にも変えがたい貴重な経験をさせていただきました。生徒たちはもちろん教員の私にとっても様々なことを知り、感じ取り、震災後の福島、これから未来の福島について真剣に考える機会となりました。福島県民の一人として、福島のために何ができるのか、どのように恩返しができるのか考え続けて行こうと思います。そして、一つでも行動に移していきたいです。西本さんのお人柄に惹かれた一人ですので、ぜひまたお会いできるのを楽しみにしています。その際はどうぞよろしくお願い致します。

教員 本日は大変お世話になりました。双葉南小の見学など、まさに得難い経験をすることができました。震災当時は田村市の船引高校に勤務しておりました。物資も情報もない状況で相双地区から避難されてきた方を、混乱の中で迎え入れたことが思い出されます。震災から8年が過ぎて、正直なところ日常の中で、地域のことや復興のことを考えることも少なくなっていました。改めて考える機会を得たことで意義深い一日になったと思います。ありがとうございました。

教員 何から何まで本当にありがとうございました。高校生を連れて行って西本さんたちの話を聞かせたり、現地を巡ったりすることは本当に意義のあることだと感じました。西本さんの話で感動したり心を揺さぶられたりしたことがたくさんありました。特に分断についての思いは忘れられません。今後も微力ながら相双地区の復興に携われたらなと思っています。よろしく願いいたします。

教員 本日はありがとうございました。21年もの間積み重ねてこられたことに、心より敬意を表します。西本さんからエネルギーを受けて、元気良く巣立っていった生徒たちの姿が、目に浮かびます。いつかぜひお役に立てたらと思います。これからもよろしくお願いします。
